

生物系研究室卒業研究発表会報告

2016年2月11日（木）に環境システムマネジメント専攻の生物系研究室の卒業研究発表会が開催されました。この発表会ではプロジェクトと関連した地域で研究を実施している学類4年生が7名研究発表を行いました。発表をタイトルだけですが以下に報告します。なお、今年度の生物系研究室の発表会では全部で11名の4年生が発表しました。

新山昌悟：阿武隈川の水質・大腸菌群数および糞便生大腸菌群数，

計良勇太：阿武隈川および祓川における放射性セシウムの動態と長期的傾向，

阿達裕花：裏磐梯泥流上の植生遷移～泥流を免れた残存ブナ林から泥流上にかけての植生，

小林友美：開墾後放棄・再生途中である法正尻湿原の植物相，

山口昌子：国立公園にふさわしい別荘地とは？ 裏磐梯「くるみの森」の植物相，

林宏至朗：水生植物が水生昆虫の分布に与える影響の解析～表磐梯地域の南ヶ丘牧場付近の池における調査結果から，

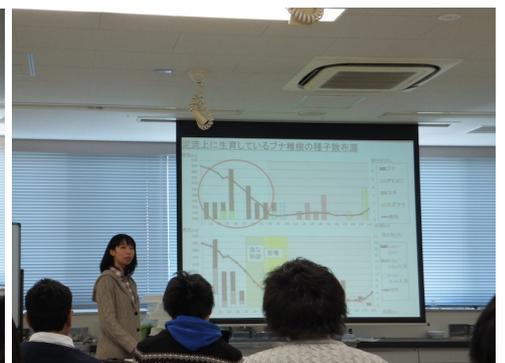
佐藤浩一：単為生殖と推定されるチビコケカニムシの種内分子系統解析



新山君(難波研)



計良君(難波研)



阿達さん(木村研)



小林さん(黒沢研)



山口さん(黒沢研)



林君(塘研)



佐藤君(兼子研)

1年半の卒業研究期間に得られたたくさんのデータに基づく発表ばかりで、聴いていて楽しかったです。中間発表の時と比べて考察の深みが増した研究が多かったように感じました。来年度も各研究室の3年生には先輩を見習ってアクティブに研究を進めて欲しいと思います。4年生の皆さん、研究発表の準備、発表、そして1年半の研究、お疲れ様でした。まだ卒業論文完成していない人は頑張ってください。